

レアメタルプロセッサーとしての存在価値 メタルドゥ

2015.10.09 09:16



いいね！

1

Tweet

0

G+1

0

7日よりインテックス大阪で開催されている第2回（関西）高機能金属展では素材メーカー、加工機械メーカー精密機械メーカーなどが一同に集積し多くの来場者を迎えているが、今回もレアメタルリサイクラーのなかでは唯一メタルドゥが出展している。

メタルドゥは前回の高機能金属展でも出展。同社の幅広い営業提案能力を示すべく、今回は金属素材エリアではなく機械加工メーカーが集まる機械要素技術展のなかに出展。



メタルドゥでは主に切削加工工場で発生する超硬チップを同社のDO BOXで回収するコーナーとレアメタル含有スクラップを解体処理するコーナーを展示。

「今はかなり弊社が回収対象としているスクラップの発生が減っており、かつ相場も下落していることで非常に厳しい状況だと痛感しているが、リサイクルプロセッサーとしての弊社の加工処理能力も知ってもらいたい」と同社の塩田氏。

レアメタルリサイクル業界で常に前面に出ているメタルドゥも昨今の構造的なレアメタルスクラップ発生減には頭を痛めている。しかしかような状況においてもリサイクル品の価値をあげることで発生元、ユーザー企業に貢献していきたいとしている。